

エンドポイント セキュリティ スイート製品

McAfee Endpoint Threat Protection
McAfee Complete Endpoint Threat Protection
McAfee Endpoint Threat Defense
McAfee Endpoint Threat Defense and Response

新たな脅威に対応する柔軟性を備えたエンドポイント保護

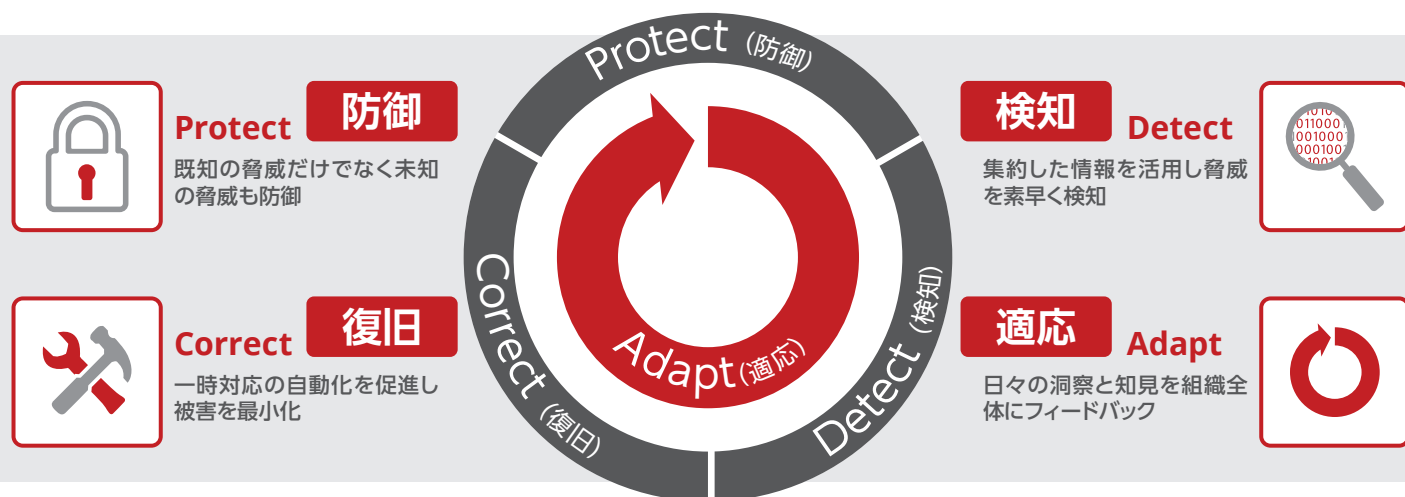


高度化・複雑化する サイバー攻撃に徹底対抗

サイバー攻撃は高度化・巧妙化を続けており、セキュリティ人材に求められるスキルも高度化し、限られたコストやリソースで一定のレベルのセキュリティを確保することが困難になっています。この課題を解決するために、マカフィーのエンドポイントセキュリティスイート製品では、「脅威対策ライフサイクル」に基づいて強固なセキュリティと運用負荷の軽減を実現しています。

脅威対策ライフサイクルとは

「脅威対策ライフサイクル」とは、組織のセキュリティを3つのプロセスからなるフレームワーク (Protect・Detect・Correct) として捉え、その仕組みを積極的に組織に取り入れて、自動化や改善をする (Adapt) ことで、セキュリティ全般の効率化を図る考え方です。重要なデータにもっとも近い場所であるエンドポイントでは、従来の「防御 (Protect)」を重視した対策のみならず、被害を受けた場合まで想定した対策が求められます。「脅威対策ライフサイクル」は、脅威情報の共有化と対応の自動化により、少ないリソースでの業務の維持継続を可能にします。



セキュリティの統合管理とインシデント対応の自動化

複雑な環境でも、より多くの脅威をより少ないリソースで迅速に解決するための2つの製品を提供しています。運用プロセスを効率化し、対応を自動化することで、被害を最小化することができます。

セキュリティの包括的な統合管理

McAfee ePolicy Orchestrator (ePO)

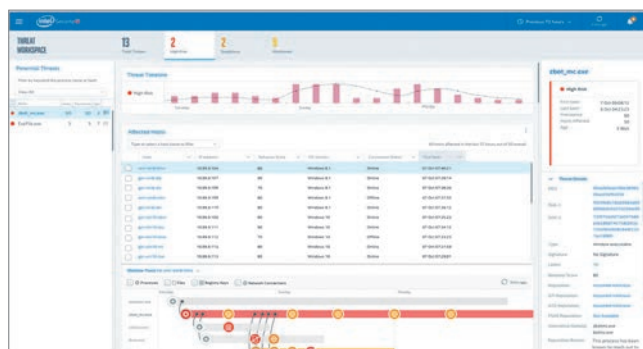
McAfee ePOは、セキュリティ管理のコストを削減し、複雑さを解消します。Webブラウザベースのひとつの管理コンソールで、マカフィーの製品を一元管理します。ポリシーの定義、アップデートの管理や、検出された脅威情報や製品の配備状況のレポートなどにより、複雑なIT環境でのセキュリティ運用の効率を向上します。



脅威の検出・監視・対応により運用プロセスを効率化

McAfee Active Response (MAR)

高度なセキュリティ脅威を継続的に監視し、対応を行います。最先端の検出技術、詳細な分析、フォレンジック調査、総合的なレポート、優先順位が設定されたアラートとアクションにより、セキュリティ状況を監視できます。脅威の検出率だけでなくインシデント対応能力も向上します。



統合的なエンドポイント対策を提供

負荷を抑えながら多層的で高度な保護を実現。さらにテクノロジーの相互連携や統合的な分析、管理を実現することで、あらゆるセキュリティリスクから企業のエンドポイントを守ります。

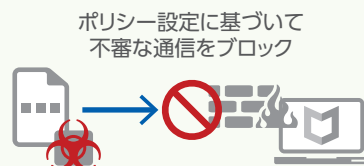
マルウェア対策

シグネチャを使ったパターンマッチングとレピュテーションをベースにマルウェアを検知し、駆除します。McAfee Global Threat Intelligence (GTI: グローバル脅威情報)との連携により、未知のセキュリティリスクにも対応します。誤検知を少なく抑え、マシンへの負荷を掛けずに効率よく脅威に対抗することができます。



デスクトップ ファイアウォール

ネットワークとインターネットのトラフィックを監視し、システムを保護します。ポート、通信相手、アプリケーションごとの通信制御など、カスタマイズ可能なポリシー設定に基づいて不審な通信をブロックします。また、McAfee GTIと連携し、危険なコンテンツやトラフィックをブロックすることもできます。



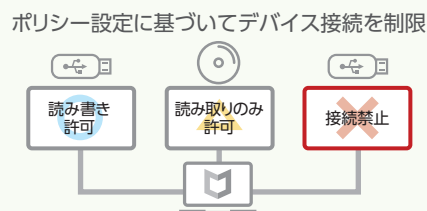
Web評価・URLフィルタリング

危険なWebサイトや業務に不要なWebサイトへのアクセスを制限することができます。また、マルウェア、スパイウェア、フィッシング詐欺などの脅威が存在するWebサイトを識別し、クリックする前にサイトの安全性を確認できます。Webサイトからのマルウェア感染リスクを軽減します。



デバイス制御

外部デバイスの接続を制限することができます。指定したUSBメモリだけを接続許可するなどのポリシー設定で、外部デバイス経由でのマルウェア感染を防止することができます。またデータの持ち出しや紛失による情報漏えいの対策としても有効です。



未知の脅威や標的型攻撃への対応を強化

さらに、近年猛威を奮うランサムウェアなどの未知の脅威や標的型攻撃に対しての防御を強化するテクノロジーを追加することもできます。

ホワイトリスト型マルウェア対策 Application Control for Desktop

レピュテーション情報も利用するインテリジェントで動的なホワイトリストにより、許可しないアプリケーションの実行をブロック。登録されたアプリケーションだけの実行を許可し、未知のマルウェアの攻撃を阻止します。専用端末やレガシーシステムも保護します。



アプリケーションの動的隔離 Dynamic Application Containment (DAC)

プログラム実行時にレピュテーション情報をベースに、未知のファイルの振る舞いを検知し、実行を制限。新種のマルウェアもリアルタイムでブロックできるので、ランサムウェアのような即座に被害がおよぶ脅威に対しての対策にも有効です。



マシンラーニングによる防御 Real Protect

マシンラーニングによる分析で、爆発的に増加する新種のマルウェアを検知。パターンマッチングでは検知が難しいマルウェアも、ファイル、レジストリ、ネットワーク通信を追跡し、動的および静的なデータ解析を行い、シグネチャレスで未知の脅威を検知します。



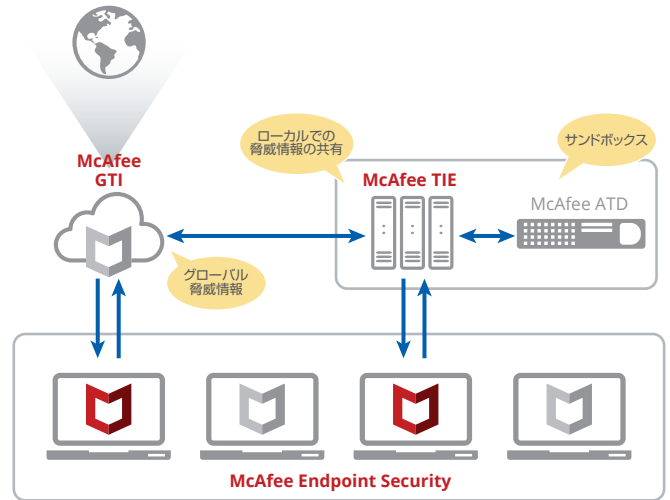
脅威情報をリアルタイムで防御対策に活用

グローバルとローカルの脅威情報をリアルタイムに活用することで、未知の脅威にも迅速な対応が可能です。

グローバル脅威情報

McAfee Global Threat Intelligence (GTI)

世界各地に配備している数百万台のセンサーから収集されたクラウドベースの脅威情報をリアルタイムに参照し、脅威を評価することで、既知の脅威だけでなく、新たに発生する脅威にも的確な対応が可能です。レピュテーションベースの脅威情報を利用することで、攻撃の可能性を事前に察知し、被害を未然に防ぐことができます。McAfee GTIは、マカフィーのエンドポイント製品で標準で利用できます。



グローバルとローカルの脅威情報の収集・共有・活用

McAfee Threat Intelligence Exchange (TIE)

企業内のローカルな脅威情報データベースをネットワークセキュリティ、サンドボックスなどと共有し、それぞれのテクノロジーと連携することができます。解析済みの脅威は企業内で共有され、統合された情報をエンドポイントで活用することで、蓄積された知見をベースに脅威を確実にブロックします。McAfee TIEはオプションとして提供されています。ライセンスを追加購入し、導入することができます。

■ スイート製品概要

統合的なエンドポイント対策機能を搭載した「Endpoint Threat Protection」、未知の攻撃へのより高度な防御機能を追加搭載した「Complete Endpoint Threat Protection」に、アドオンスイートを組み合わせてご利用いただけます。

	エンドポイント スイート		アドオン スイート	
	Endpoint Threat Protection	Complete Endpoint Threat Protection	Endpoint Threat Defense	Endpoint Threat Defense and Response
ePolicy Orchestrator ・集中管理	✓	✓	✓	✓
Endpoint Security 10.x (Windows / Linux / Mac) ・マルウェア対策 ・ホストIPS ・デスクトップ ファイアウォール、アクセス制御 ・Web評価/フィルタリング ・デバイス制御	✓	✓		
Application Control for Desktop ・ホワイトリスト型マルウェア対策		✓		
Dynamic Application Containment ・アプリケーションの動的隔離		✓	✓	✓
Real Protect ・マシンラーニング		✓	✓	✓
Threat Intelligence Exchange ・脅威情報の収集・共有・活用			✓	✓
McAfee Active Response ・脅威の検出・監視・対応				✓

注) 搭載される機能は製品のバージョンや使用されるOSによって異なります。

製品情報はこちらをご覧ください <http://www.mcafee.com/jp/products/endpoint-protection/endpoint-security.aspx>



マカフィー株式会社

www.mcafee.com/jp

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティウエスト20F
TEL: 03-5428-1100 (代) FAX: 03-5428-1480

西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18F
TEL: 06-6344-1511 (代) FAX: 06-6344-1517

・製品、サービスに関するお問い合わせは下記へ

McAfee, McAfeeのロゴ、マカフィーは米国及びその他の国におけるMcAfee LLCの商標または登録商標です。その他の商標または登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。Copyright © 2017 McAfee LLC.

● 製品、サービス、サポート内容の詳細は、最寄りの代理店または弊社事業部までお問合せください。● 製品の仕様、機能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

MCABR-EP Suite-1803-MCA